|  |
| --- |
|  |

目次

[1 OHS管理 3](#_Toc365274216)

[2 OHS事故の報告と調査 4](#_Toc365274217)

[3 安全計画 4](#_Toc365274218)

[4 下請業者の管理 5](#_Toc365274219)

[5 リスク管理 6](#_Toc365274220)

[6 訓練と資格 6](#_Toc365274221)

[7 機器の安全 6](#_Toc365274222)

[8 変更情報 7](#_Toc365274223)

[付録1 – エリクソン事故記録用紙 – 社外用 8](#_Toc365274224)

© Ericsson AB 2012

All rights reserved.本文書の情報はエリクソンの所有物であり、予告なく変更されることがあります。エリクソンは、事実に関する誤りまたは誤字について、何ら責任を負うものではありません。

エリクソン特定サプライヤ用労働安全衛生基準

エリクソン一般サプライヤ用労働安全衛生（OHS）基準に加えて、この特定OHS基準は、建設作業、現場保守、およびネットワーク展開サービスのサプライヤ、および契約により本文書に拘束されるその他すべてのサプライヤに強制的に適用されます。この基準は、その他すべてのサプライヤに推奨されます。

# OHS管理

サプライヤは、自費で以下を行います。

* OHSのすべての問題を検討し、単一の連絡窓口となる上級担当者を指名する
* サプライヤ組織全体へのOHSの伝達に関する役割と責任を明確に定義する
* 適切なOHS管理とプロセスを用意し、十分なリソースを割り当てて、従業員、サプライヤ、下請業者、およびその他の第三者からのサービス提供に関連するOHSリスクを特定し、それに対処する
* エリクソンと協力して、OHS協定（OHS計画でも可）を作成する。サプライヤはサービスを実行する間、合意されたOHS協定を維持する
* 従業員、下請業者、およびサプライヤのOHS訓練の必要性を評価し、適切なレベルの訓練が行われるようにする
* リスク評価とPPE点検プロセスのすべての基準を実行して、必ず従業員、エリクソンの従業員、および第三者の死亡または重傷に関連する切迫したリスクを管理してから、関連する作業やサービスを開始する
* エリクソンの要求に応じて、OHS管理検討会議に出席する
* エリクソンの要求に応じて、安全衛生コンプライアンス、資格、リソースに関するOHS監査に必ず出席し、エリクソンに全面協力する（エリクソンのお客様が参加する場合もある）
* 検査、テスト、および監査のプログラムを通じて、必ずOHSパフォーマンスを継続的に監視およびレビューし、そのデータを要求に応じてエリクソンに提供する

# OHS事故の報告と調査

サプライヤは、以下を必ず実行します。

* 事故およびニアミスの報告、記録、調査を行うために必要なすべてのシステムを用意する
* 死亡または重傷につながる恐れのあったすべての重大事故（死亡、重傷、重大な健康障害、危険発生）またはニアミスは、エリクソンの事故記録用紙（以下の付録1を参照）を使用して、合意済みの作業レベルのプロセスに従って、OHS協定で決められた連絡先に24時間以内に報告する
* サプライヤは、すべての重大事故の調査において、エリクソンへの協力と支援を行う
* 重大事故および事故調査に関連するすべての詳細を、エリクソンと共有する（サプライヤは、エリクソンのグループ企業およびエリクソンのお客様がこれらを共有する可能性があることを了承する）
* その他すべての関連事故に関する合意済みの概要データを、可能な場合はサプライヤのポータル経由で、それが可能でない場合は相互に同意したその他の電子的手段によって、毎月エリクソンに報告する

# 安全計画

サプライヤは、すべての建築作業および高リスクのプロジェクトについて、安全計画を作成および実行し、作業の関連リスクを管理するためにサプライヤが用意する手段を詳述します。

この計画には、以下を含めます。

* 着手する作業の範囲
* 主な連絡先、およびOHSに関する責任（OHSの特定任務に携わる人物の免許、資格、経験を含む）
* リスクの評価と軽減（第5章を参照）
* 訓練と資格の規定（第6章を参照）
* 合意に従って必要な基準を確実に満たし、エリクソンに当該OHSデータを提供できるよう、サプライヤが用意する監視、監査、検査、認定、および報告に関する詳細プロセス
* サプライヤの事故報告および調査手続きの詳細
* 下請業者の選定および管理方法の詳細（第4章で詳述する基準の伝達を含む）
* 作業実施時の高リスク物質の選択、使用、および管理方法の詳細
* サプライヤの緊急時用プロセスの詳細
* その他エリクソンとサプライヤ間で必要とされる管理プロセスの詳細

# 下請業者の管理

サプライヤは、以下を含む強力な仕組みを用意して、請負業者を管理します。

* 請負業者のOHS能力がエリクソンの基準を満たしているかどうかを評価するシステムとプロセス
* サプライヤの義務を請負業者に伝え、その義務を反映する契約上の取り決め
* サプライヤとその請負業者との間のパフォーマンス管理方法に関する契約上の記載（必要な場合）
* エリクソンのOHSポリシーおよび指示に対する請負業者のコンプライアンスについて、伝達と監視を行う方法
* 請負業者のOHSパフォーマンスを定期的にレビューするシステム

# リスク管理

サプライヤは、作業範囲に関わるリスクを管理する仕組みを用意し、最低限以下を行います。

* 作業範囲に関連する危険を特定し、OHSリスク評価に関する業界のベストプラクティスを使用するか、またはOHSの法令と規則に準拠して関連リスクを評価する
* リスクを除去または軽減する手段を実行する
* リスクを受ける恐れのある人物に必要な管理措置を伝達する
* これらの管理措置のパフォーマンスを継続的にレビューする

# 訓練と資格

サプライヤは最低限、以下の事項を必ずサプライヤのスタッフおよび請負業者に適用します。

* エリクソンのために、またはエリクソンの代理として作業を行う者はすべて、指定された実施作業に関連する訓練を受ける
* 高リスク作業では、目的に沿った訓練を行う（適切な言語を使用し、対象者に合った手段で訓練を実施する）
* 高リスク作業（高所作業、電気工事、運転など）は、必ず訓練を受けた有資格者が行う
* 訓練記録は、いつでもエリクソンが閲覧できるようにする

# 機器の安全

サプライヤは、以下の事項を必ず実行します。

* すべての機器（クレーン、吊上げ機械、チェーン、ロープなど）は、製造者の推奨に従って、検査、テスト、保守、および認定する
* 機器の変更は、製造者の推奨に従い、認定国際認証機関の承認を得る
* すべての施設と機器は、使用目的に合わせ、製造者の推奨に従って保守を行い、使用前に点検/検査し、必ず操作資格を有する者が使用する
* 事故調査方法は文書化し、機器の欠陥または障害に対処するプロセスを含める
* 機器の使用、保守、保管、処分に関する適切な情報と指示を入手し、エンドユーザーに伝える

# 変更情報

|  |  |
| --- | --- |
| **リビジョン** | **説明** |
| A | 初版 |
| B | 正式変更 |

# 付録1 – エリクソン事故記録用紙 – 社外用

